



## FinCity.Tokyo

海外Fintechスタートアップ×日系企業  
協業促進ビジネスマッチング&ピッチ

2025年9月3日

CONFIDENTIAL – DO NOT DISTRIBUTE

# Securitize at a glance

- 2017年創業; 世界有数のRWAトークン化事業者
- 30+億ドル、130+トークンの実績<sup>1</sup>
- 380億ドル、~715の管理資産、世界最大のデジタルファンド管理事業者
- 大手機関投資家のファンド・トークン化をリード - BlackRock, Apollo, VanEck, KKR, Hamilton Lane, Blockchain Capital, ParaFi, 他
- 日本の大手金融機関・事業会社・ファンドが出資

## 法令に準拠した総合的トークン化ソリューションを提供



デジタル証券取り扱いTransfer AgentとしてSEC登録第一号



SEC登録・FINRAメンバーのデジタル証券取り扱い証券会社兼ATS事業者



EU MiFID対象投資会社、DLT Trading and Settlement System (TSS)申請中



© 2025 Securitize. Confidential Information.

<sup>1</sup> Data as of May 2025. Total dollar amount (USD) invested through the Securitize platform since inception, across broker-dealer & transfer agent entities.

<sup>2</sup> Data as of June 2025.

## 大手機関投資家・ファンドに採用されるトークン化プラットフォームのグローバル・リーダー

\$100M+



トークン化・プライベート・クレジット・ファンドとして世界最大<sup>2</sup>

\$200M+



トークン化・機関投資家ファンドとして世界最大<sup>2</sup>

\$270M+



トークン化株式として世界最大<sup>2</sup>

\$2.8B+



トークン化米国債ファンドとして世界最大<sup>2</sup>

\$3B+



トークン化プラットフォームとして世界最大<sup>1</sup>

Forbes Fintech 50



2022 CB Insights Blockchain 50



2020 Coindesk 50



Red Herring Top 100 North America



2024 Fast Company Most Innovative Companies



# Securitize Japan

- 2019年12月設立
- 企業・金融機関向け総合的ソリューションを提供
- 多くの事業者・金融機関、投資家をサポート
- さまざまな革新的案件をサポート、デジタル証券市場をリード
  - ✓ 商品 - 社債、金銭信託、受益証券発行信託、G K-TK、不動産、米ドル建て社債、格付付案件
  - ✓ 販売チャネル - 自己募集、銀行販売、証券会社販売

## 企業・金融機関向け 総合的ソリューションを提供



End-to-endのトークン化ソリューションを提供; 顧客・案件に柔軟な対応が可能



トークン化・ブロックチェーン利用による「資金調達 x マーケティング」の実現



プライベートチェーン、パブリックチェーンいずれにも対応可能



© 2025 Securitize. Confidential Information.

<sup>1</sup> Data as of May 2025. Total dollar amount (USD) invested through the Securitize platform since inception, across broker-dealer & transfer agent entities.

<sup>2</sup> Data as of June 2025.

## さまざまな案件タイプ、販売チャネルで デジタル証券市場をリード

- 自己募集 - 丸井 #1 - #4, クレディセゾン, PPIH (ドンキホーテの親会社)
- 銀行販売型 - ソニー銀行 #1 & #2
- 映画製作委員会 - 「宝島」 via フィリップ証券
- デジタル・エンゲージメント - JR西日本 #1 & #2、カゴメ
- ポイント投資モデル - クレディセゾン
- 米ドル建社債 - ソニー銀行

PPIH

クレディセゾン

丸井

三井住友信託銀行

ソニー銀行

野村證券

みずほFG

SBI

フィリップ証券

NTT DATA

LIFULL

# 自己募集型STスキーム ～丸井グループの事例～

日本初の事業会社による「自己募集型デジタル社債」を実現しました

## 丸井グループ/野村証券

### 案件概要

案件：社債、規模：1億円、期間：1年

利率：年1% (金銭0.3%、エポスポイント0.7%)、4回債は電力会社ポイントも合算すると最大3%還元予定

格付け：A、投資金額：1万円～

丸井Gによる事業会社として日本初のデジタル債の公募自己募集に、野村証券がSecuritizeのSTプラットフォームを同社に提供

- 一般的な株式や既存の個人向け社債と比較し、管理コストを抑制でき金額の小口化が可能になった
- 発行体がユーザーから直接資金を調達、エンゲージメント強化を狙ったマーケティング効果も狙う
- 金銭だけでなくエポスポイントでの利払いを実施
  - さらにプラチナ・ゴールド会員の購入代金は年間ポイント利用額に計上
- 調達資金は1~3回債は途上国のマイクロファイナンス、4回債はグリーンプロジェクトに投資。
- 1回債は募集金額の20倍、2回債は15倍の応募、3回債は募集額を倍増、10-15倍程度の応募。2024年3月、4回債の募集開始。

(ご参考)& magazine (インパクト共創マガジン) : <https://www.0101maruigroup.co.jp/ir/lib/magazine.html>



| 会社名        | 主な役割   |
|------------|--|
| 丸井グループ     | ・ 販売対象者の特定やポイントによる利払いのための連携システムの構築<br>・ 銀行口座引き落としスキームの構築         |
| 野村証券       | ・ 本公募社債発行のフィナンシャルアドバイザー<br>・ 発行会社に対し、セキュリティ・トークンを発行するプラットフォームの提供 |
| Securitize | ・ プラットフォームの開発・保守<br>・ 発行会社との連携システムの構築                            |

発行会社 → トークン発行 → SECURITIZE (トークン権利移転) → 社債投資 → 投資家

銀行口座引き落とし (発行会社からSECURITIZEへ)

元利払い (利払いは金銭若しくはポイント又はその両方による支払いが可能)

# 自己募集型STスキーム ～PPIHの事例～

## 「ドン・キホーテ」運営のPPIHによる自己募集型社債STを実現

パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス/SMBC日興証券

### 案件概要

案件：社債、規模：1億円、期間：1年

利率：年1% (金銭0.3%、majicaポイント0.7%)

投資金額：1万円～

- 若年層応援企画として、調達した資金は国内の若年層への支援金として活用する
- 24歳以下の投資家には追加でmajicaポイントの特典を付与
- UCSネットサーブとのシステム連携を通じて、投資家がmajica番号付帯のUCSカード会員であることを自動的に確認するプロセスを導入
- UCSネットサーブからPPIHの販売システムへ個人情報<sup>\*</sup>を安全に連携することで、投資家はそれらの入力作業を省略



# 「セゾンのスマート不動産投資」における協業

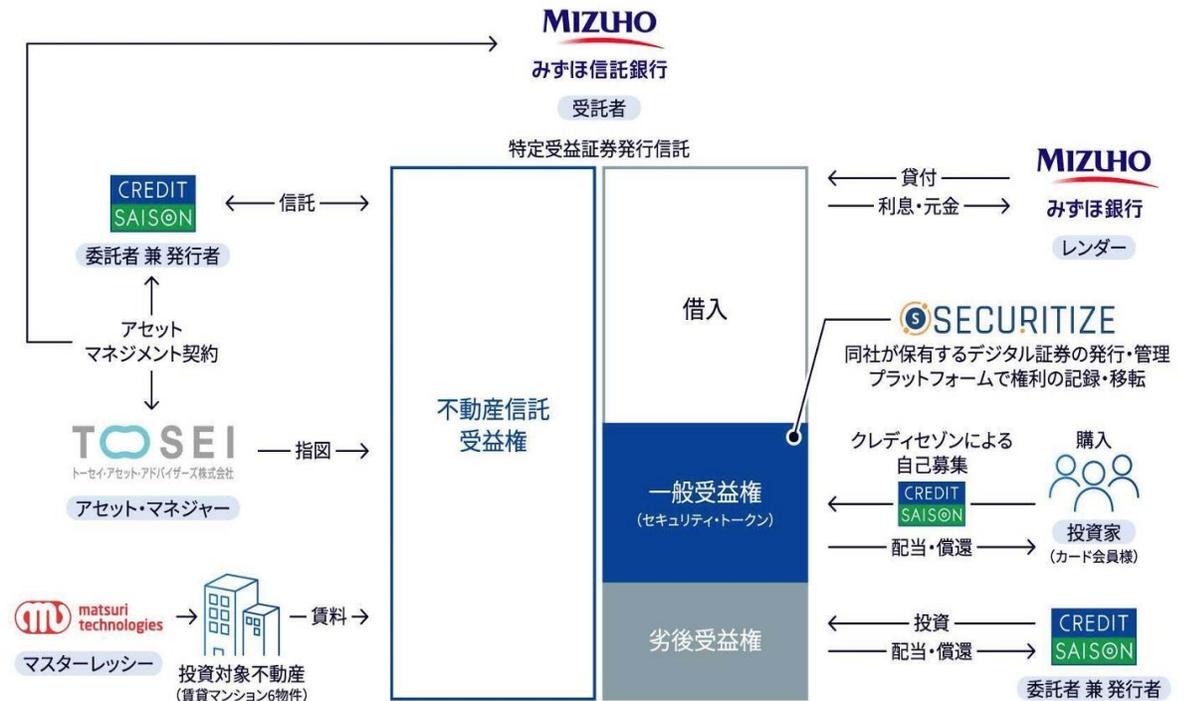
日本初の「不動産STの自己募集」案件を実現しました

## サービス概要

|             |   |
|-------------|---|
| 本サービスの名称    | セゾンのスマート不動産投資-神楽坂・早稲田・西早稲田・巣鴨・大森・大森町- (譲渡制限付) |
| 募集有価証券の種類   | 受益証券発行信託の受益権を表象するセキュリティ・トークン (トークン化有価証券)      |
| 募集総額        | 1,000,000,000 円                               |
| 申込対象者       | クレディセゾン発行のセゾンカード・UCカード会員 (Netアンサー・アットユーネット会員) |
| 委託者兼発行者     | 株式会社クレディセゾン (自己募集)                            |
| 受託者         | みずほ信託銀行株式会社                                   |
| アセットマネージャー  | トーセイ・アセット・アドバイザーズ株式会社                         |
| レンダー        | 株式会社みずほ銀行                                     |
| プラットフォーム提供者 | Securitize Japan 株式会社                         |
| 投資対象不動産     | 東京 23 区内 6 物件 (共同住宅)                          |
| 受渡日         | 2025 年 6 月 16 日 (月)                           |

※本受益権の詳細は、本受益権に関し本日付で関東財務局長に提出された有価証券届出書をご参照ください。

## 本商品の仕組み



# 特典付き社債スキーム ～JR西日本の事例～

デジタルエンゲージメントプラットフォームは、JR西日本の社債発行にも利用されました。

## JR西日本/みずほG&楽天証券

### 案件概要

案件：社債、規模：5億円、期間：1年

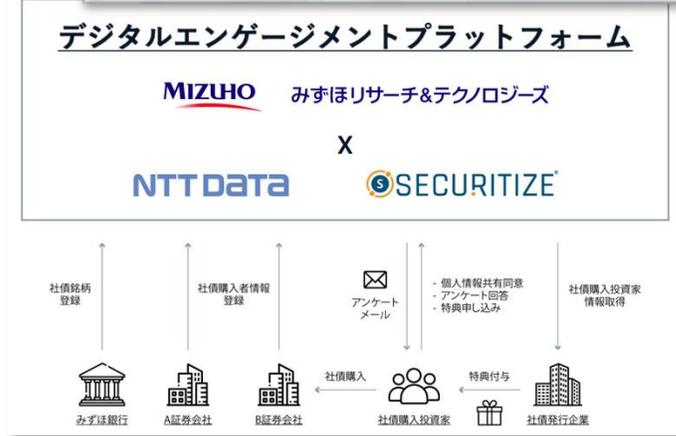
利率：年0.41%

投資金額：10万円～

- 鉄道事業者として初となる個人向けデジタル特典付き社債
- Securitizeがみずほ銀行に提供するデジタルエンゲージメントプラットフォームを利用した、JR西日本社債の販売
- 販売会社や銀行などの金融機関が、社債の情報や顧客の情報をプラットフォームに入力することで、発行体もこれらの情報にアクセスできる仕組み（カゴメにおける利用方法と同様）
- キャンペーン内容：

購入金額に応じて、WESTERポイントと、JR西日本圏内の切符片道が5割引となる鉄道優待割引券1枚を付与（新幹線も利用可）

30万円以上の投資家のうち抽選で吹田総合車両所の車両撮影ツアーに招待（社員による車両所の解説、車両の撮影、グッズ販売・行先表示幕の展示など）



# 特典付き社債スキーム ～カゴメの事例～

デジタルエンゲージメントプラットフォームをみずほ銀行に提供。初号案件でカゴメの社債を発行。

## カゴメ/みずほG&楽天証券

### 案件概要

案件：社債、規模：10億円、期間：1年

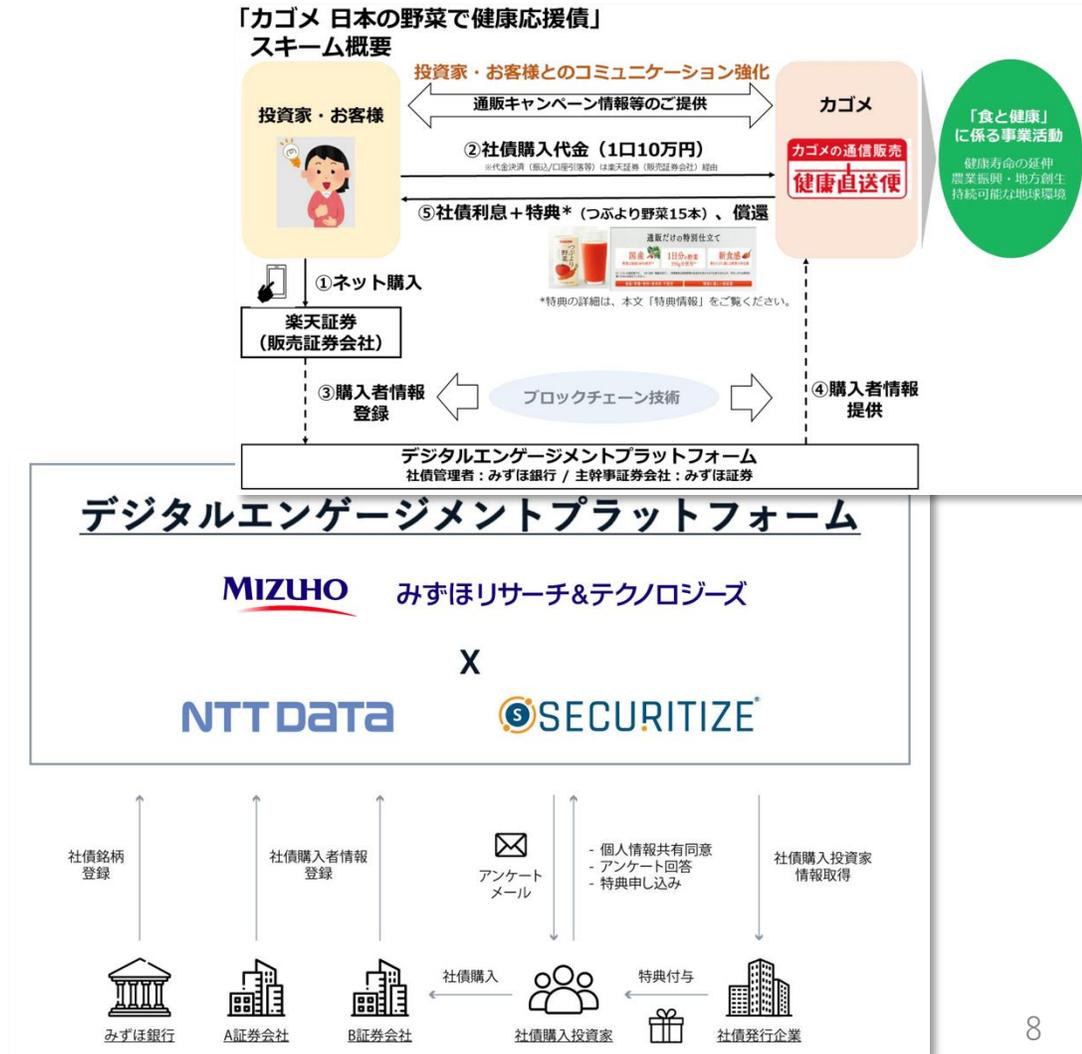
利率：年0.2%

投資金額：10万円～

キャンペーン：社債購入者に野菜ジュース15本を送付

- Securitizeがみずほ銀行に提供するデジタルエンゲージメントプラットフォームを利用した、カゴメ社債の販売
- 販売会社や銀行などの金融機関が、社債の情報や顧客の情報をプラットフォームに入力することで、発行体もこれらの情報にアクセスできる仕組み
- これまで公社債は、発行体が投資家の状況を知り得なかったが、このプラットフォームを利用することで、発行体が直接投資家へ情報発信やコミュニケーションをとり顧客情報を把握することを可能とする

これによりマーケティングの施策などがより柔軟に設計可能になる





# ファイナンス×マーケティングの可能性

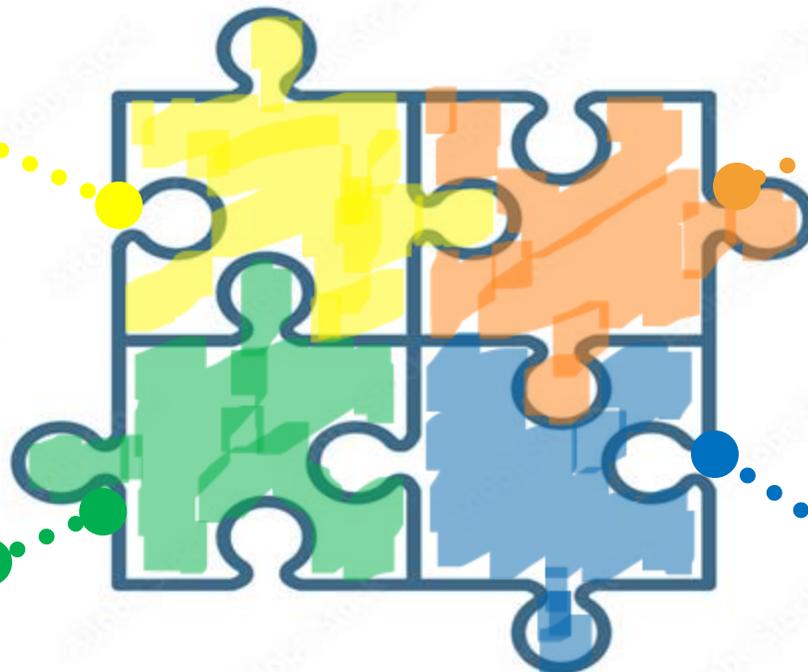
## FINANCE X MARKETING\*1

### FINANCE - 発行企業

- 資金調達コスト (おまけ、Point)
  - 引受・販売手数料
  - 新たな投資選択肢

### FINANCE - 顧客・投資家

- より高いリターン
  - 少額からの参加
- 新たな投資/ユーザー体験



### MARKETING - 発行企業

- 顧客・投資家のファン化
- グループ内他事業とのシナジー
- リアルタイムでの施策可

### MARKETING - 顧客・投資家

- 企業の目的の応援・賛同\_\_押し
- おまけ, 特典, ベネフィット
- リアルタイムでの恩恵

\*1. Marketing - ロイヤルティマーケティング | 顧客エンゲージメント | 応援 | 参加 | 共創 | 当事者意識 | ファン | 押し活 | 社会課題・貢献 | ソーシャル・SDG | 目的



[WWW.SECURITIZE.IO](http://WWW.SECURITIZE.IO)